

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用（別添様式2）

公表日： 2024年 2月 7日

事業所名：Athlonデイサービスカケルあしや サービス種類：放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	観覧スペースと運動スタジオを備えているが、利用者の体格に応じたスペースが確保できていない場合もある	はい:91.7% いいえ:8.3% ・少し狭いように感じる	観覧スペースに利用者の荷物を置くなどの工夫を行う 運動器具などの整理を行い、スペースの確保を図る
	2 職員の適切な配置	プラス1名の加配を検討している	はい:66.7% いいえ:8.3% 分からない:8.7% どちらともいえない:16.7% ・運動の専門性は高いが、発達障害の専門性があるかはわからない ・指導力には個人差があるように感じる	引き続き研修を受講し、職員全体の専門性の向上を図る 人員募集を行う
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚化の工夫を行っている	はい:91.7% どちらともいえない:8.3% ・発達特性に合わせた環境設定にはなっていないように感じる	さらに分かりやすい視覚支援の工夫を行う 発達特性に見合わない箇所の把握・改善を行う
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々、清掃・消毒・安全管理を行い、利用者の健康・安全への配慮を徹底している。	はい:91.7% 分からない:8.3%	引き続き日々の清掃・消毒を徹底し、利用者が過ごしやすい環境を提供できるように努める
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々、支援に対する振り返りや利用者個人に対する目標設定や確認を行っている。		継続し、支援の質を高めていく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	本部による外部評価を得ることで、業務改善を行っている。		第三者からの評価も受け入れ、業務改善を行っていく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月一回社内にて定期的に職員に対する研修を実施している		引き続き継続して研修を実施するとともに、外部機関で開催している研修にも積極的に参加を促していく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援面談などで保護者と利用者に対する現状や課題の擦り合わせを行い、次の支援計画作成につなげている	はい:100%	引き続き、利用者のニーズや課題の共有を行い、支援の質向上に努める
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	曜日によって集団・個別を分ける、集団内でも利用者の状況に応じてクラス分けを行うなど計画を立てて実行している	はい:100% ・学校ではできない事にも取り組んでもらえている	利用者の特性や状況により、集団・個別の内容を組み合わせ、計画を立てて今後も実行していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者との面談をもとに課題を明確化し、具体的な目標・支援内容の策定を行っている	はい 91.7% わからない 8.3%	引き続き、課題やニーズに沿った計画や内容の策定に努める
適切な支援の	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	保護者との面談をもとに作成した個別支援計画をもとに職員間で共有し支援の実施に従事している	はい:91.7% わからない:8.3%	引き続き、専門性をもって各支援に従事していく
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	多岐にわたる活動プログラムの立案に努めている。		内容豊富な活動プログラムの立案・考案に努めていく
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	利用時間によって外出支援・制作・運動などの活動プログラムを変化させ、利用者が充実して過ごすことができるよう努めている		引き続き利用時間によって外出支援・制作・運動などの活動プログラムを変化させ、利用者が充実して過ごすことができるよう努めていく
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	課題やニーズに対して多角的に活動プログラムを設定し、利用者が飽きずに取り組みやすいように工夫を行う	はい 91.7% どちらともいえない 8.3%	引き続き多岐にわたるプログラムの立案・実施できるように努める

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
提供(続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に当日の支援内容や担当などについて共有したうえで、実際の支援に従事している	引き続き、共通の認識をもって支援に従事できるよう努めていく	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援内容や課題などの支援に対する振り返りを行い、職員間で共有し、次の支援につなげている。	多方面から気づいた点や支援の内容について議論を深め、支援の質向上につなげている	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援内容や課題などの支援に対する振り返りを行い、支援の検証・改善、職員間で共有を行い、記録として残している	引き続き、記録を残すとともに日々の振り返りにて支援の検証・改善を行い、さらなる支援の質向上に努めている	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一回以上のモニタリングの実施・計画の見直しを行っている	継続して定期的なモニタリングの実施・計画の見直しを行う	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	利用者に日々接している職員が担当者会議へ参加している	今後も継続していく	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	なし	なし	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	なし	なし	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校からの問い合わせがあれば対応しているが、総数は少ない	今後も機会があれば積極的に情報共有を行い、円滑な移行につなげている	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要に応じて情報共有を行っている	今後も継続して情報共有を行う	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	主にモニタリングを通じて連携し、情報共有を行い、受講可能な研修には参加している	今後も密な連携を行うとともに、専門機関での研修の受講を促進していく	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	年に一度障害のない子どもと一緒に運動発表を行うなど、イベントを通じて活動の機会を増やしていきたい意向である	はい:25% どちらともいえない:8.3% いいえ:25% わからない:41.7%	障害のない子どもと活動する機会を増やせるよう努めていく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	利用者が制作した作品を地域の作品展などへ出展している		可能な限り地域にオープンな事業の運営に努めていく
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明を行い、変更がある場合は、紙面に配布し、説明を行っている。	はい 91.7% どちらともいえない8.3%	引き続き実施していく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画を提示しながら利用者のニーズに沿った具体的な支援内容の説明に努めている	はい 100%	引き続き実施していく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	積極的な実施には至っていない	はい 33.3% いいえ 25% わからない 25% どちらともいえない 16.7%	支援力を向上し、計画的に実行していきたい意向である。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡ツール等を活用し、保護者と共通理解の徹底に努めている	はい:83.3% どちらともいえない:8.3% わからない:8.3% 運動面以外の課題の共有は不十分を感じる場合もある	引き続き送迎時や連絡ツール等を活用し、保護者と共通理解の徹底に努めていき、運動面以外の課題の共有を強化していく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要と感じられる支援や声かけなどを具体的に示し、情報共有につなげている 必要に応じて面談等を実施している	はい 91.7% いいえ 8.3%	引き続き保護者のニーズを傾聴し、必要な対応を継続していく
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	積極的な実施には至っていないが、今後交流イベントなども検討中	はい:50% いいえ:16.7% わからない:8.3% どちらともいえない:25%	保護者同士の交流の場の立案・実施を行っていく 保護者の交流会をしてほしい
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する体制の整備を行い、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応できるよう努めている	はい:33.3% わからない:66.7%	今後も苦情に対する体制の整備を行い、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応できるよう努めていき、必要な情報を共有していく
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時や連絡ツール等を等を活用し、保護者との意思疎通や円滑な情報伝達に努めている	はい:91.7% いいえ:8.3%	適切な方法で意思疎通や情報伝達を行えるよう努めていく
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動や行事予定をカレンダーとして配布している	はい 66.7 いいえ 8.3% わからない 8.3% どちらともいえない 16.7%	引き続きカレンダーを配布するとともに、会報などの発行を目指す
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	守秘義務を順守し、鍵付きのロッカーにて厳重な管理を行っている。	はい:83.3% わからない:16.7%	引き続き守秘義務を順守し、鍵付きのロッカーにて厳重な管理を行う。
	非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルの職員間での共有を定期的に行い、感染症やその対応については保護者へ連絡している	はい:50% いいえ:8.3% わからない:16.7% どちらともいえない 25% マニュアルの周知があったか不明
2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施		年二回避難訓練や防災学習を実施している	はい:75% わからない:16.7% どちらともいえない:8.3%	引き続き定期的な避難訓練・防災学習を実施し、非常時に備えられるよう努めていくとともに、実施概要等を保護者に対しても公表を行っていく
3 虐待を防止するための職員研修の確保等の適切な対応		虐待防止研修を各職員、受講している		引き続き虐待防止研修の受講を行う
4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		やむを得ず身体拘束を行う場合は、利用者や保護者への十分な説明を行い、社内にて委員会を設置している		引き続きルールを明確化を職員間でも共有し必要がある場合は、十分な説明と計画書への記載を行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	事前のヒヤリングにて食物アレルギーの詳細を保護者へ確認し、提供物に含まれないよう対応している		引き続き食物アレルギーに対する管理・共有を行う
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例が生じた場合には、その旨を記録として残し、同じ状況が生じないよう職員間で共有・改善を行っている		更にヒヤリハットに対する職員の警戒を強め、記録を残し、共有・改善に努めていく